

広報部所管事業における主要事業の改善取り組み状況

📣 広報さっぽろ

- 平成 17 年度から 24 年度にかけて、効果額の合計は 73,060 千円
- これまで様々な見直しに取り組んできたが、これ以上の仕様見直しは、情報量の減少及び発信力の弱体化につながるものが危惧される

単位：千円

年度	見直し項目	効果額
H17	表紙の紙質変更（厚手の紙から、本文ページと同じ薄い紙へ）	23,000
H18	広告枠の拡大	7,800
H20	カラー月削減（年 6 回 → 年 4 回へ）	4,300
H21	ページ数削減（40P×年 8 回+44P×年 4 回→40P×年 12 回へ）	5,500
	カラー月削減（年 4 回 → 年 2 回へ）	
	配布先・予備部数精査（1,500 部削減）	500
H22	紙質変更（より薄く廉価な紙へ）	20,200
H24	広告枠の拡大（縦 1/3×2）	11,760

計 73,060 千円

📣 広報番組（TV・ラジオ）

- 平成 20 年度から 3 年間、民間での豊富な経験を有する任期付職員を採用し、民間における PR 手法のノウハウ等を取り入れながら、より低廉なコストで効果的に情報を伝えるための提供手法について検討
- その結果、放送頻度の削減や休止により、レギュラー番組に係る経費を節減し、その経費を活用して、既存の情報提供番組での効果的な情報発信に取り組むなど、ターゲットとする視聴者層を意識した番組制作を展開。

単位：千円

年度	放送局	見直し項目	効果額
H19	UHB(TV)	3 月分の放送休止	600
H20	HBC(ラジオ)	放送回数減	2,000
	STV(ラジオ)	4～6 月分の放送休止	900
	Northwave(ラジオ)	放送回数減	1,100
H21	HTB(TV)	放送休止	7,200
	HBC(TV)	放送休止	7,300
	Air-G'(ラジオ)	放送回数の見直し	1,600

計 20,700 千円

📣 出前講座

- 平成 24 年度より、子ども向けのテーマを充実させ、市政情報に触れる機会を積極的に提供。（小中学生にもおすすめのテーマ：10 分野・42 テーマ）

📣 インターネットを活用した広報

- 平成 23 年 3 月に CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を導入しホームページの全面リニューアル及び更新方法と業務体制の見直しを実施。
- CMSの導入により、運用委託料の削減を実現。併せて、各課での更新が容易になり事務の効率化と、デザインの統一・アクセシビリティ向上等を実現。平成 22 年度 20,500 千円⇒H23 年度 9,637 千円（▲10,863 千円）
- 平成 22 年度末より、Twitter/YouTube/Ustream のテスト運用開始（Twitter/YouTube については 24 年度から本稼働）

👂 特別相談

- 平成 22 年度の市民評価を受け、各種相談の経費見直しなどを実施。
- 札幌市が行政としてどこまでサービスを行うべきか、他の機関の相談体制の動向や、市民ニーズなどを注視していく。

単位：千円

平成 23 年度に実施した見直し項目	効果額
法律相談における単価の減額	3,898
家事手続相談・税相談の廃止	974
司法書士相談の謝礼廃止	1,020
家庭生活相談における交通費の見直し	88

計 5,980 千円

👂 市政世論調査・市民アンケート

- 平成 24 年度より、調査対象年齢をこれまでの 20 歳以上から 18 歳以上へと拡大。

👂 改善による経費節減額等の一覧

単位：千円

年度	広報誌	広報番組	出前講座	インターネット	特別相談	市政世論調査 市民アンケート
H17	23,000	0		0	0	
H18	7,800	0		0	0	
H19	0	600		0	0	
H20	4,300	4,000		0	0	
H21	6,000	16,100		0	0	
H22	20,200	0		0	0	
H23	0	0		10,863	5,980	
H24	11,760	0	子ども向けの テーマを拡充	0	0	対象者を 18 才以上へ
計	73,060	20,700		10,863	5,980	

合計 110,603 千円